

「地域とともにある学校づくり」×「学校を拠点とした地域づくり」

寿都町コミュニティ・スクールだより

第26号 令和5年12月6日 発行
発行者 寿都町学校運営協議会連絡会

～コミュニティ・スクール「第2ステージ」へ向けて～

令和5年度 寿都町コミュニティ・スクール交流会を開催しました！

11月10日（金）、町内の学校運営協議会（保護者や地域住民が学校運営に参画する組織）委員と学校支援ボランティア、教職員等49名が集まり、コミュニティ・スクール（CS）交流会を開催しました。

交流会の前半では、これまでの「地域とともにある学校づくり」を目指してきた10年間の成果を振り返るとともに、子どもたちの成長を支える地域と学校のこれからの姿について情報共有を行いました。後半では、「学校を拠点とした地域づくり」をテーマに参加者がグループに分かれて意見交流を行いました。

第1部 情報共有

●「地域とともにある学校づくり」 × 「学校を拠点とした地域づくり」●

本町では、平成26年にCSを導入して以来、「地域とともにある学校づくり」を目指し、地域住民や保護者が学校の教育方針の決定や教育活動の実践に携わってきました。このような取組により、地域ぐるみで寿都の子どもを育む意識が根付き、子どもたちの学習は、より豊かなものとなっています。

しかし、支援をする地域側の負担となっているのも事実です。

元来、コミュニティ・スクールの目的は、学校と地域の双方の発展を目指す点にあると言われています。

つまり、地域と学校の関係は、「win-win」の関係であることが求められているのです。

持続的な取組となるためには、地域と学校のかかわりを通じて、地域に活気が与えられることや将来の人材育成につなげること等の「新しい価値」を生み出すことにあります。

寿都のCSが向かう次のステージは、地域と学校のかかわりを通じて、これからの地域をつくることを目指す「学校を拠点とした地域づくり」です。

次のステージへ進む切符を手にしているのは、後志管内どこをみても寿都町だけなのです！

●「学校づくり」と「地域づくり」の好循環●

ゲストとして登場した役場産業振興課の〇〇〇〇さん。寿都高校を卒業し、今年の4月に役場に入庁しました。

小学生の頃に「風車の学習」で講師を務めた役場職員に憧れて役場への入庁を決めたようです。

「支えられる側」から「支える側」へ、今度は子どもたちに、地域の魅力、地元で働くやりがい等を伝えていきたいということをお話してくださいました。



第2部 グループワーク

●テーマ● 「子どもたちの成長を支える地域と学校のこれからの姿を考える」

「学校を拠点とした地域づくり」を目指すため、4つの観点に基づき、グループワークを行いましたので、その一部を紹介します。



●「まちの将来を見据えた人づくり」グループ●

【これからの寿都に必要な人材は・・・】

- ・新しい視点を持っている人材
- ・感性豊かな新リーダー
- ・寿都大好き人間

【地域と学校でできそうなことは・・・】

- ・学校からの発信
- ・大人も子どもも気軽に集える場づくり
- ・近隣地区との交流

●「地域住民の生きがいづくり」グループ●

【地域住民にとっての生きがいは・・・】

- ・子どもの成長や笑顔
- ・他者への貢献
- ・趣味やサークル活動
- ・活躍する場所がある
- ・家族の存在
- ・地元の美味しい「食」

【地域と学校でできそうなことは・・・】

- ・大人の趣味を増やすきっかけづくり
- ・特技を持っている人を授業の特別講師として招待



●「子どもと一緒にふるさとづくり」グループ●

【寿都はどんな故郷でありたいか・・・】

- ・子どもも大人も活気に満ちたまち
- ・人のぬくもりが溢れるあたたかいまち
- ・帰りたくなる「ふるさと」
- ・誰もが誇りに思えるまち

【地域と学校でできそうなことは・・・】

- ・地域の伝統を伝えていく
- ・まちを知る、人を知る、子どもを知る

●「元気で豊かな地域づくり」グループ●

【元気で豊かな地域とは・・・】

- ・みんなが元気な地域
- ・笑顔が絶えない地域
- ・あいさつがある地域
- ・人との「つながり」がある地域

【地域と学校でできそうなことは・・・】

- ・発表会のお披露目
- ・「昔あそび」の授業や運動イベントで世代間交流

